

求道第八卷第一號附録 明治四十年十一月十二日第三種郵便物認可  
 明治四十四年二月十五日發行(毎月一回十五日發行)

# 求道第七卷

自第一號至第九號 總目錄

## 求 道

○他力の本意……………	一	頁	一	號
○信ずるほかに別の子細なきなり……………	四七		二	
○惟佛是真……………	八七		三	
○善もほしからず、悪もよそれなし……………	一二三		四	
○誓願の親心……………	一六五		五	
○横着心と遠慮心……………	二〇五		六	
○深信と報謝……………	二四五		七	
○當に知るべし、本誓重願虚しからず……………	二八七		八	
○朝家の御ため國民のために念佛申すべし……………	三五九		九	

## 自 督

○如信上人御墓及び唯圓房の遺跡參拜……………	七		一	
唯圓房の遺跡……………	九		一	
岩船山願入寺……………	一一		一	

金澤法龍寺……………	一一		一	
如信上人御墓……………	一五		一	
山村の一泊……………	一八		一	
○慈父悲母……………	五一		二	
○讚岐所感……………	九一		三	
○前念命終後念即生……………	一二六		四	
○歳晩の感謝(不斷煩惱得涅槃)……………	三八五		九	

## 講 話

○無上淨信の曉……………	近角常觀	二一	一	
○本誓重願虚しからず……………	同	五六	二	
○廻向と慚愧……………	同	九六	三	
○一向專修……………	同	一三三	四	
○業と恵……………	同	一六九	五	
○一切衆生悉有佛性……………	同	二〇九	六	
○如來の護念……………	同	二四八	七	
○自然と廻向……………	同	二九七	八	
○人生問題と信仰……………	同	三三〇	同	
○香光莊嚴……………	同	三六二	九	

(二) 聖傳

○ヂャーイタカ釋尊傳(前卷に續く).....三四(一)  
久遠劫の昔.....

同.....一〇(三)  
同.....一四六(四)  
同.....一八二(五)  
同.....二二二(六)  
同.....二六二(七)

告白

○遠慶宿縁.....三七(一)  
○聞書.....丁 信.....三九(同)  
○聞書(續).....丁 信.....七三(二)  
○慈光の照護.....尾野敏雄.....七五(同)  
○重々の御導き.....宇野みね子.....七八(同)  
○今は唯本願の網にすがるばかり.....  
.....生沼さく子.....一一九(三)  
○大悲無倦.....向坊久五郎.....一四九(四)

○憂き事多きは吾身なり

.....渡邊萬吉.....一八七(五)  
.....逸名氏.....一九〇(同)  
○極易行の念佛.....上野啓造.....二三〇(六)  
○噫辻生絲衣夫人.....綾部りく子.....二三三(同)  
○信を以て能入となす.....小松原謙三.....二七五(七)  
○遣瀬なき御念力.....二七九(同)  
○信仰書簡四章.....鈴木龍司.....三一四(八)  
○入信の經歷.....須藤堅正.....三八一(九)  
○底抜けの懺悔.....

讚仰

○蓮如上人の御文(一).....和田龍造.....七〇(二)  
○同(二)——五帖目第一通(二).....同.....一一五(三)  
講義.....

○歎異鈔(前卷に續く).....近角常觀.....

第十二章 歎異鈔の著者は何人か(先師).....  
.....につきて.....二六九(七)

慶讚

○十七憲法

.....近角常觀.....  
第三條 君則、臣則、.....三七五(九)

嘆咏

○哀歌.....増田甚.....四四(一)

雜錄

○如來は慈父母也.....近角常觀.....一五五(四)  
○眞宗と婦人.....同.....一九二(五)  
○唯念佛.....同.....一九八(同)  
○夏期に於ける青年の修養.....同.....二〇二(同)  
○歎異鈔につきて.....同.....二四二(六)  
○信仰問題の着眼點.....同.....三二九(八)  
○朝鮮傳道所感.....同.....三三二(八)

朝鮮基督教の排日觀.....三三二(同)

朝鮮教化と邦語.....三三三(同)

朝鮮開發と信仰.....三三四(同)

時局と十七憲法.....三三五(同)

○時局と十七憲法.....同.....三三六(八)

○信仰書簡七章.....二四七(同)

○信仰書簡六章.....三九二(九)

時報

○昨年の求道講話.....四五(一)  
○仰恩紀行.....八四(二)  
○讚岐傳道.....一二二(三)  
○自督餘録.....一五九(四)  
○傳道日乘.....一九九(五)  
○爾後の傳道日割.....二〇二(同)  
○其後の傳道概況.....二四四(六)  
○爾後の地方傳道.....二八三(七)  
○朝鮮傳道.....三五五(八)

如來大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし、

師主知識の恩徳も

骨をくだきても謝すべし。

